

じゃんけんには勝つ7つの法則



じゃんけんは、手だけを使い三種類の指の出し方（グー、チョキ、パー）で勝ち負けを決める手段です。日本で「拳遊び」を基に考案されましたが、現代では日本だけでなく世界的にも普及しています。中国では「猜拳」、アメリカ等では“rock, paper, scissors”、イギリス等では“scissors, paper, stone”という呼称があります。日本国内でも、「じゃいけん」「いんじゃん」など地域によって様々な呼び方があります。



2002年、世界各地のじゃんけん系ゲームのばらばらだったルールを統一し、世界大会を開くためとして the World Rock Paper Scissors Society (略称 WRPS) がカナダで結成されました。WRPS は「わが組織は1842年にイギリスで設立された」と主張していますが、1842年にはまだじゃんけんはこの世の中に存在していなかったもので、これはWRPSのジョークといえそうです。

WRPSでは、「World Rock Paper Scissors Championships」という、じゃんけんの世界選手権を毎年11月にトロントで開催しています。賞金合計額はなんと1万ドル。参加者はみな、決して「偶然」や「運の強さ」で勝ち上がろうとは考えていません。明確な戦略によって勝利を目指すと言います。

つまり……じゃんけんとはただのランダムや確率ではないわけです。なぜなら、人間は「完全に」ランダムに何かをすることができないためです。ゆえに勝利するためのトリックやテクニックが存在すると

ということになります。「じゃんけん弱いんだよ〜」という人がいますが、それは『戦略がないから』、だそうです。

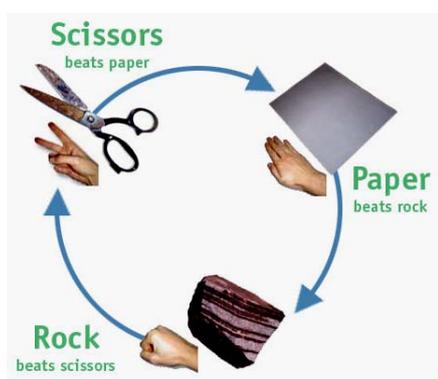


確率としてのじゃんけん

じゃんけんは、しばしば確率の問題などで使われることがあります。「グー」「チョキ」「パー」を出す確率をそれぞれ3分の1とすると、2人での対戦の場合、あいこが重なっても平均すれば、1.5回で勝敗が決着します。そこで、あいことなる確率を計算した人がいます。じゃんけんをn人で行うと、1回の試行であいことなる確率は右のようになります。

$$1 - \frac{2^n - 2}{3^{n-1}}$$

・・・難しい数学はともかく、じゃんけん勝ち続けるためにはどのような戦略が必要なのか、そしてどのようなことが可能なのかをみてみましょう。



まず勝つために知っておく必要がある基本的戦術が2つあります。

【基本その1】：相手から特定の選択を取り除くこと

たとえば相手がグーを出さないのであれば、こちらはチョキを出し続けていれば勝利可能です。そんなことできるわけがない!と思うかも知れませんが、そんなことはないのです。できるんです。

【基本その2】：相手が何を出すかを、直前の動きから見極める

つまり、1つめの方法と組み合わせることで相手を操作し、あるいは予測することで勝利可能、というわけです。

この直前の動きというのはじゃんけんを出す手の動きと言うことだけでなく、直前の試合結果なども含みます。つまり深層心理のレベルです。

じゃんけんに勝つ7つの法則

この2つの基本的戦略の発展系を組み合わせることによって、勝利するためのいろいろな方法が出てくるわけです。これが7つの必勝テクニックなのです。

1：初心者相手なら、初戦はパーを出す



男性に多い傾向として、最初にグーを出すそうです。これはグーに「強い」というイメージを抱いているただそうです。そのため初心者相手のじゃんけんでは最初に「パー」を出せば高確率で勝利できるそうです。ただし、じゃんけん世界選手権のような相手がプロの場合は通じません。

2：経験豊富な相手なら、初戦はチョキ



初心者はグーを出すということは、経験豊富な相手の場合は何を出せばいいのかというと、「チョキ」ということになります。初心者ではないのだからグーではない、ということは相手の出すのはチョキかパー。ということは、こちらはチョキを出していれば少なくとも負けはしない確率が高い、ということです。

3：2回連続の罠



基本的戦略で紹介した「相手から特定の選択を取り除く」というのがありました
が、これがそれです。例えば相手がチョキ、次もチョキ、と出した場合です。

すると相手が次に出すのはグー、あるいはパーの可能性が非常に高くなります。

というのも、じゃんけんにおいては相手に予想されると圧倒的に不利なため、どうしても2回連続で同じ手を出してしまうと、予想されるのを回避するためにそれ以外の手を出す傾向が強いためです。

4：宣言する



次に何を出すのかをあらかじめ宣言し、その通りの手を出すという方法です。

あなたが「次はパーを出す！」と言うと、相手はその言葉を疑っているのでグーを出してきません。ということはパーかチョキです。あなたはチョキを出せば少なくとも負けない、ということになります。これは人間心理の攻防です。

心理戦に慣れていない相手で、なおかつある程度考えてしまう人間が相手の場合に有効です。

5：考えるより先に手を出させる



考える時間が少なくなればなるほど、直前で勝った手を出してくる確率が高まります。

相手が直前にチョキで勝ったのなら、無意識のうちにチョキを出しやすくなります。

あなたはグーを出せば勝ちます。

いわゆる成功体験があると、それから離れられないという心理を利用するものです。

6：出す順番を固定させる



手品のテクニックと同様のモノです。相手とじゃんけんする前に「グーはチョキに勝ち…」と言いながらグーを相手に見せ、次に「チョキはパーに勝ち…」と言いながらチョキを相手に見せ、「パーはグーに勝つ」と言いながらパーを相手に見せます。

イメージが深層心理で固定され、いま見た順番で手を出しやすくなります。「キリンキリンキリン…」というように「キリン」と10回言わせてから「鼻の長い動物は？」と尋ねると「キリン」と答えてしまうのと似たような操作です。あるいは手品師が相手に特定のカードを引かせるテクニックとも同じです。

7：どうしようもなくなったらパーを出せ

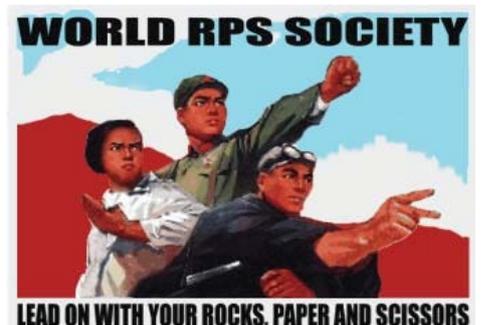


相手もこちらと同等の戦略を駆使してくる相手である場合、最終的に次に何を出せばいいのかわからなくなる、つまり手が読めなくなる場合があります。

そういう場合は「パー」を出せばまだましな結果が期待できます。というのも、過去のじゃんけん大会

で最もよく「出されなかった手」は、「チョキ」だからです。じゃんけんが確率のみであるならばどの手も等しく33.33%ずつのはずですが、実際にはチョキが最も低く、出される確率は29.66%でした。

「パー」を出せば勝てる可能性は高い、というわけです。



どうでしょうか？さっそくためてみましょう！



げんき辞典

ゼラチン

今年は暑さ対策が必要ですね。ひんやり冷たいゼリーは喉ごしさわやか。そのゼリーの素、ゼラチンには美容と健康にとっても重要な栄養が隠れています。

◆ゼラチンは何から摂れるの？

ゼラチンは豚や牛などの家畜の骨や皮から抽出されます。なので、ゼラチン=コラーゲンと考えていいほど、全体の約87%がコラーゲンになっています。

◆コラーゲンの効果は？

お肌の再生に効果がある他、シミやシワを予防します。軟骨を丈夫にしたり、血管に弾力性がでるので、動脈硬化を予防し、アンチエイジングの食べ物として見直されています。



◆ダイエットにも効果的

寒天と比べてゼラチンにはカロリーがありますが、低カロリーなので美容食には最適で、糖分も含まれていないので、食事制限のある方やダイエットにもおすすめです。また、介護食にも重宝されています。

◆毎日ゼラチンを摂る方法

美容に栄養があるからといって、毎日ゼリーを食べるのも飽きてしまいます。そこで、粉ゼラチンをご飯を炊く時にふりかけたり、味噌汁などにもふりかけて食べると自然に栄養が摂れます。ゼラチンを入れて炊いたご飯はしっとりしておいしいですよ。ぜひお試しください。



らくらくレシピ

昔ながらのひとくちフルーツゼリー

カラフルで見ても涼しげ♡

調理時間：2時間

| 材料 (4人分) | |
|----------|--------|
| フルーツ缶詰 | 1缶 |
| 水分ゼラチン | 小さじ2 |
| 水 | 大さじ3 |
| 石少米唐 | 30~40g |



作り方

- ① 缶詰をあげシロップとフルーツを分ける。
- ② 水に粉ゼラチンを入れ10~20分置きふやかす。
- ③ シロップに石少米唐を加え溶かす。
- ④ 小さい鍋にゼラチンと③を入れ加熱する。
- ⑤ 製氷器にフルーツと④を入れる。
- ⑥ 冷蔵庫で1~2時間冷やして完成。

